

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（9月分）

留学先大学：Vytautas Magnus University

氏名：金子 のの子

Labas vakaras!(こんばんは!) 暖かく晴れの日が続いた9月-Rugpjūtis-です。夏休みも終わり、今月から本格的に授業がまたスタートします。新学期が始まるということで、Baltija寮も日本人学生含めさまざまな国から留学生が入ってきて賑わいをみせています。そして、私も7階の2人部屋から5階の3人部屋へお引越しをしました!3人の共同生活、どうなるのでしょうか...。今月は、VDUに留学される方向けに新学期の時間割と授業内容についてお伝えしようと思います。それでは、9月の報告書はじめます!

【時間割】

期間が短い秋学期は、言語の授業は45分で週4回に分けられます。前セメスターの90分で週2回に比べると、一回ずつ授業を集中して受けることができ、短時間でも毎日その言語に触れることができるので身に付きやすいと感じます。また、ドイツ語の授業があるから起きなきゃと強制的に朝起きるようになるので、朝のリズムができてとてもいいです。その他のクラスも授業回数を補うために、土曜日に授業やテストがあったりするのも秋学期の特徴で、大学のMoodle(授業の資料や連絡が掲載されている学習用ページ)を毎日チェックしながら進めていきます。

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
German Language 9:25-10:10	German Language 9:25-10:10		German Language 9:25-10:10	German Language 9:25-10:10
		Internship at Sugihara House	The Black Sea Region 11:15-12:45	Studies of Colonialism and Post-Colonialism 11:15-14:00
	Media and Popular Culture 13:15-14:45			
	Sociology and Anthropology 15:00-16:30			
Geopolitics 16:45-18:15	Religion and Politics 17:00-18:30			

春学期で、課題の取り組み方やテストの形式がだいたいわかってきたのと、残り4か月、しっかり学びきって帰ろうというやる気も含めて、今期は2つ授業を増やして7つのクラス(合計32ECTS)を取ることにしました。前セメと比べて、取ってみたいと思う授業がたくさんあり、履修を組む時に絞るのが大変でした。でも、開講されている時間や授業内容を比較しながらパズルのように時間割を組んでいる時がいちばん楽しいんです！どんな授業なんだろうと想像しながらってワクワクしませんか？でも、そんな気持ちも授業が始まったら...

VDUに留学される方へ：基本、履修登録前に、開講場所や曜日が詳しく書いてあるコースの一覧表(Googleで「VDU Course」or「VDU Timetable」と検索)を見ながら組んでいきますが、開講時間や場所が突然変更されることもたびたびあるので注意が必要です。登録期間中に変更された情報を Student ポータルの履修登録で確認することができます。

◆授業の内容

・ **German Language A1**: リトアニア人とドイツ人の先生2人体制。初級レベルとなっているが、もともとドイツ語を習っていた人向けのレベル。文法は完了形までの範囲で、授業でとにかく話させる、使わせながら覚えていく形式。15人ほどの少人数クラスなので、みんな和気あいあいした雰囲気の中ドイツ語を学ぶのが本当に楽しい。

・ **Geopolitics**: 地政学。地理的な条件が国家に与える政治的、経済的、軍事的影響をふまえて、各国の国家戦略をみていく授業。主に、アメリカやロシア、ヨーロッパの関係を中心として第二次世界大戦や戦後、冷戦などから地政学を理解していく。

・ **Media and Popular Culture**: コミック DC やマーベルなどのアメリカンコミックから社会問題や宗教、ジェンダーなどを取り上げていく。ただ読むのを楽しむだけではなく、コミックの背景にあるもの、どのように社会を反映しているかを知ることができ、アニメやコミックに対する捉え方が変わるような面白い授業。アメリカ人教授の喋りが止まず、少しエネルギーを吸い取られる90分。

・ **Sociology and Anthropology**: 社会学と人類学。文化的・社会的な面から結婚や家族のあり方、宗教、政治、経済など幅広い分野のトピックを扱っていく。授業の中で、教授が生徒にあなたの国ではどうなの？と質問するので、それぞれの国で違いや状況をその国の留学生から知ることができる。

・ **Religion and Politics**: 宗教と政治。宗教に対する知識がないと理解するのが難しい内容もあるが、いま世界で起きている事、例えば人工妊娠中絶に対する法案などから宗教や政治との関係をみていくのはとても重要なことだと感じる。宗教と政治においての問題を歴史的、現代的な視点からみていく授業。



・ **International Cooperation in the Black Sea Region:** 黒海において周辺国の政策や国同士の関係を分析してく。地政学とも近い部分があり、地域を限定してその政治的、経済的つながりをみていくのが面白い。ロシアを中心として紛争や地域問題、国の力関係をディスカッションしながら理解していく授業。

・ **Studies of Colonialism and Post-Colonialism:** ヨーロッパがいかにして植民地を増やしていったか、政策やセオリーを通して学んでいく。主に西欧諸国についてフォーカスしているが、日本の植民地政策はどうだったのか照らし合わせて考えるきっかけになる授業。

【働く女性】

授業を受けて驚いたのは、私が取っている今期のクラスで **Media and Popular Culture** 以外、すべて女性の教授が担当している事でした。福井大学や VDU だけで判断するのは少し偏っているかもしれませんが、女性が教育の現場にこれだけいるということもヨーロッパと日本社会の違いなのかなとふと感じました。そして、ほとんどの先生が家庭をもち、子育てをしながら大学で授業を行っているという点も女性のキャリア支援の環境や制度からくる違いなのかもしれません。

◆次回は、英語を使いながら色々な人たちに出会える **コミュニティ in Kaunas** について紹介します！